



笑顔いっぱい

令和6年度 1月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

武雄市教育大綱

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

夢と志をもち、意欲的に取り組み、自己肯定感に満ちた児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

新年を迎えるにあたって

今年の元旦には能登半島地震があり、夏には水害が再度同じ地区を襲いました。その精神的・身体的ショックは令和元年と令和3年に水害を被った武雄市民だからこそ理解できると思います。また、日本原水爆被害者団体協議会の長年の活動に対し、ノーベル平和賞が先日授与されました。日常の平和がいかにありがたく、戦争の悲惨さを常に忘れてはならないと感じた1年でした。

平和のありがたさと自分自身を見つめる意味も込めて、12月24日（火）の朝、全校集会の校長の話の中で、次の宿題を出しました。

- ① 4か月の自分を振り返り、3か月の目標を立てること。
 - ・一生懸命学習し、自分の力を増やせたのか。
 - ・友達や家族のために役に立てたのか。
- ② 家族のために役に立つこと。
 - ・掃除、手伝い、気持ちのよい挨拶、節度のある生活など自分から進んでできる。
- ③ 元気に出てくること。
 - ・自分の命は自分で守る。

努力の上に花が咲く

私が通った大学の創始者が校訓とした言葉です。土があれば草が芽吹き花は咲きます。しかし、花屋に並ぶような花は、適した土や水、環境でなければきれいな花を咲かせられません。努力とは土づくりとも言えるのではないのでしょうか。努力しなければ、良い結果は出ませんし、努力した人には到底勝てません。チームであれば、仲間のことを理解し、信じ、幾度もトライ＆エラーを重ねたところに結果はついてきます。

そのような学習や練習ができ、努力を養えるのは、学校に通っている時代がチャンスです。いろいろなすれ違いやトラブルもあると思いますが、成長の過程と思って対応していただければ幸いです。

入賞おめでとう Vol.3

学童美術展の審査会が行われました。1・2年生は楽しかったことや身の回りの出来事、3～6年生は、学校内や地域の自然や建物などのスケッチです。

1年	県特選：中村昇真さん	県準特選：長田実樹さん	支部特選：太田蒼都さん
3年	県特選：諸井壱月さん	県準特選：山口慶人さん	支部特選：常盤莉加さん
4年	支部特選：伊藤世悟さん	辻南乃叶さん	
6年	県特選：平川碧人さん	県準特選：坂井那奈さん	関虎生さん 支部特選：中島力さん

また、11月号で紹介した2年辻鑑さんが読書感想文の県審査で優秀賞でした。

カラーコーンと椅子のご寄付

(株) BORA-JAPAN様よりカラーコーン24個と折り畳みパイプ椅子40脚をご寄付いただきました。

カラーコーンは、運動場や体育館で体育の時間や運動会の時に使わせていただきます。椅子は、儀式で使わせていただきます。

